

論 文 要 旨

学籍番号	81933552	氏 名	柿沼 佳寿子
論文題目： 読書の好き嫌いとは苦手意識の違いによる苦手意識の要因分析			
<p>(内容の要旨)</p> <p>2001年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」や2020年度から実施されている小学校の「学習指導要領」では、読書の重要性が示されているものの、読書しないなど読書に消極的な小学生に対する配慮や具体的な方策は見あたらない。また、読書による様々な効果を踏まえ、読書するための対策を重視しているため、読書しない要因の深掘りが不足しているといった先行研究における課題がある。</p> <p>そこで本研究では、読書しない根本原因を、読書に対する苦手意識の要因分析により明らかにすることを目的に、①読書の基礎調査、②読書に対する苦手意識の定義・要因分析、③読書に対する苦手意識の根本要因の特定、④読書しない苦手意識の根本原因の仮説検証、を実施した。①ではリサーチクエスチョン策定を目的に、文献調査・学校見学・インタビュー調査を行った。また、②ではリサーチクエスチョンをもとに、活字を主体とした本を読むことを「読書」と定義し、読書に対する好き嫌いにより苦手意識の内容は異なるとの仮説をたて、幅広い世代を対象としたインタビュー調査を実施することにより苦手意識の定義・分析を行った。そして、③では②の結果をもとに苦手意識の根本要因を特定し、これにより得られた根本要因の原因に関する仮説を検証するため、④において「イラスト並べ替え物語づくりテスト」を考案して仮説を確認した。</p> <p>この結果、読書に対する苦手意識と読書の好き嫌いは異なることが判明し、読書に対する苦手意識が、1)他人との比較に起因するもの、2)自分の思い描く姿との比較に起因するもの、3)本の内容への反応に起因するもの、4)文章から内容や情景をイメージできないことに起因するもの、の4つに分類されることが明らかとなった。さらに、4)の苦手意識が、本研究において読書しないことが確認されたタイプ(苦手意識があり、読書が「嫌い」「やや嫌い」)に限定してみられることがわかった。これにより得られた「4)の苦手意識は、想像する力が弱いことによって生じる」との仮説を検証するため、「想像する力」を測定する「イラスト並べ替え物語づくりテスト」を実施した。その結果、4)の苦手意識の根本原因が「想像する力が弱いこと」によることを確認した。したがって、「想像する力」を高めることにより、読書しない根本要因のひとつである「文章から内容や情景をイメージできないことに起因する苦手意識」を軽減させることが期待できる。</p>			
キーワード (5語) 読書、苦手意識、読書の好き嫌い、想像する力、質的調査			